

弱溶剤形木部用下塗材

SK木部用下塗材

SK木部用下塗材は住宅の木部分の塗り替えや新築の塗装に適した下塗材で、着色仕上げを行うのに適しています。結合材には特殊合成樹脂を採用しており、各種針葉樹、広葉樹及び、各種旧塗膜に対して優れた付着性を示します。

特 長

1 仕上がり性

肉持ちが良く、木の目止めにも有効です。上塗りの仕上がりにも影響のある下塗りとして、役割を十分発揮します。

2 速 乾 性

わずか3時間で弱溶剤の上塗りを塗り重ねることができ、工期短縮につながります。

3 作 業 性

レオロジーコントロールによる塗りやすい粘性を実現し、作業効率を向上させます。

4 幅広い塗り替え性

塗り替えの場合、塗装されている木部に幅広い旧塗膜適性を示します。

適用下地

- ・新設木部：スギ、マツ、ツゲ、ラワン、シナ等の針葉樹や広葉樹
- ・旧塗膜：合成樹脂調合ペイント、弱溶剤ウレタン樹脂塗料、アクリル樹脂塗料

適用上塗材

- ・エスケー一液NADウレタン
- ・エスケープレミアムNADシリコン
- ・エスケースマートシリコンW
- ・一液マイルドシリコン
- ・弾性クリーンマイルドウレタン等

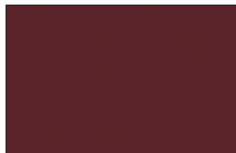
用 途

- ・住宅の破風等の木部

標 準 色



シロ



ブラウン (ニト 07-30F 近似)

荷 姿

- ★SK木部用下塗材 16 kg石油缶 (標準塗坪 80 ~ 123 m² / 缶)
4 kg缶 (標準塗坪 20 ~ 30 m² / 缶)
- ★エスケー一液NADウレタン 15 kg石油缶 (標準塗坪 57 ~ 68 m² / 缶)
4 kg缶 (標準塗坪 15 ~ 18 m² / 缶)
- ★塗料用シンナーA 16 l 石油缶

※印刷のため、色相は実物とは多少異なります。ご了承ください。
なお、() 内は (一社) 日本塗料工業会の近似色の色番号を表しています。



施 工 仕 様

(23℃)

工 程	材 料	調合 (重量比)	所要量 (kg / m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
※1,2 下地調整	汚れ、付着物などをサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックニスなどで処理しておく。							—
※3,5,6 1. 下 塗 り	SK木部下塗材	100	0.13 ~ 0.20	1 ~ 2	3 以上 7 日以内	3 以上 7 日以内	—	ローラー、刷毛
	塗料用シンナーA	0 ~ 10	—					
※4,5,7 2. 上 塗 り	エスケー液NADウレタン	100	0.22 ~ 0.26	2	3 以上 48 以内	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
	塗料用シンナーA	0 ~ 10	—					

※1. 新木の場合の乾燥程度は18%以下としてください。また節止めには必ずラックニスを塗装してください。

※2. 内装で合成樹脂調合ペイント、フタル酸樹脂エナメルなどの塗り替えの際は、必ず目荒しを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜のちぢみ、剥がれの原因となります。

詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

※3. SK木部下塗材を使用した塗装器具はラッカーシンナーなどで洗浄してください。

※4. エスケー液NADウレタンの希釈率は、スプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で「0~10」となります。

※5. SK木部下塗材、エスケー液NADウレタンの希釈には、必ず塗料用シンナーAを使用し、他の材料の使用は避けてください。

※6. 下塗り後、必要に応じてサンドペーパー等で研磨処理を行ってください。

※7. 上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は、色目および施工時の気温により変化することがあります。

施工上の注意点

- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色相を塗装する場合は、隠べい性を高めるため、予め隠べい性の良い共色を塗装してください。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- 被塗物の形状、膜厚や色目、塗り回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 塗料用シンナーAで希釈する製品については、塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。ただし、その他の材料の使用は避けてください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
- 低温又は高温時には、乾燥が遅くなります。通風をよくし、十分に乾燥養生を行ってください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所にお問い合わせください。
- 陶磁器・タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 水の溜まるような部位では、膨れ、剥がれが発生する恐れがありますので、施工を避けてください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に降雨、降雪、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 立ち上がり部位へ塗装する際は、塗装付近の降雨、降雪による水溜りや積雪を除去してから塗装を行ってください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨、降雪が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨、雪がかからないようにしてください。
- 降雨の状況や塗装部位の構造により塗膜が濡れ現象を呈する場合があります。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5℃以下、湿度 85% 以上の施工は原則的に避けてください。気温 5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を 5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、しっかりと密栓してから、直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれ安全データシート（SDS）に従ってください。

特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には、揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

 **エスケー化研株式会社**

本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎ 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391 名古屋支店 052-561-7712 大阪支店 072-621-7721 広島支店 082-943-5043 福岡支店 092-629-3427
仙台支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400 京都支店 075-646-3967 神戸支店 078-671-0451 高松支店 087-865-5411

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>



[製作年月:2019年3月] (190310.YO-2R)